

基本目標	基本理念	基本方針		2024 (令和6年)	2025 (令和7年)	2026 (令和8年)	2027 (令和9年)	2028 (令和10年)	2029 (令和11年)			
<p>すべての人が地域で支え合い健やかに暮らせるまち</p> <p>あなたが主役 みんなで広める健康づくり</p>	<p>健康づくり「一人ひとりにあった健康づくりの促進」</p> <p>健康チャレンジ10か条・子ども版健康チャレンジ10か条の推進</p>	<p>ひとの健康づくり「一人ひとりにあった健康づくりの促進」</p>	<p>古賀市健康増進計画（第三次）・食育推進計画（第二次）での取組</p> <p>健康でいきいきとした生活をおくるために ・子どもの頃から健康づくりに必要な知識や生活習慣の獲得し、実践する。 ・自身の健康に関心をもち、積極的に健康づくりに取り組む。</p> <p>4つの柱</p> <p>行動変容・実践・習慣化</p> <p>自分の健康状態把握 → 知識等の習得・理解 生活習慣の改善、習慣化 ← 「健康チャレンジ10か条」等を実践</p>	ぶらん及び取組周知	取組展開と課題の共有化	取組展開と課題の共有化	取組展開と課題の共有化	具体的活動の評価、方向性の見直し、次期計画策定準備	6カ年及び全期間の総括、次期計画策定			
			<p>主体的な健康づくり活動への取組の実践・習慣化 施策・事業等への参加</p> <p>年度毎に評価：PDCAサイクルを活用し、実効性のある取組の推進を図る</p>	<p>健康チャレンジ10か条の実践を定着 正しい健康情報の獲得</p> <p>10か条を知っている人の割合：15%以上 実践している人の割合：40%以上</p>								
			<p>子ども</p> <p>骨を介した健康づくりの推進</p> <p>子どもの肥満とやせの対策 規則正しい生活リズムにフォーカスし支援</p>	<p>【子どもの健康づくり推進事業】 骨密度測定、健康講話、情報提供、生活習慣調査 モデル校で実施（小学校2校、中学校1校） → 全校による実施（小学校8校、中学校3校）</p> <p>10か条（子ども版）の周知啓発</p>	<p>10か条（子ども版）を知っている人：40%以上 実践している人：50%以上</p>							
			<p>女性</p> <p>「女性ホルモン」の変化に応じた健康づくりの推進</p> <p>若い女性・妊娠期・更年期・高齢者等の ライフステージ合わせた支援</p>	<p>健診（検診）の周知啓発 市民公開講座等他課・他団体・地域との連携により啓発</p>								
			<p>高齢者</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施</p> <p>重症化予防とフレイル予防（介護予防）</p>	<p>定期的な健診受診勧奨 社会貢献活動ができる場の提供 測定依頼のない地域への働きかけ</p>	<p>後期高齢者健診受診率：11%（R4）から増加 全行政区での健康測定会の実施</p>							
			<p>新たな視点</p> <p>「朝（午前中）」を意識した生活の推進 「計る（測る）」を取り入れた生活の推進</p>									
			<p>個人の健康づくりをサポートするために ・地域の各種団体・組織、保育所等、学校、職場（企業）、店舗等の主体的な取組と連携を図り取り組む。</p> <p>個人の行動変容を促す環境整備</p> <p>地域、企業・店舗、行政、学校、その他、個人（サポーター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主体的な取組 ●担い手の育成 ●ネットワークづくり ●情報提供 	<p>各サポーター活動の充実</p> <p>健康チャレンジ10か条に基づき、健康づくり等関連サポーターが一体的に活動する（課題・目標の共有化） 健康チャレンジ10か条を市民が継続的に実践できるしくみが増える（個人にあった健康づくりの選択肢が増える）</p> <p>各サポーターのネットワークづくりに加え、支え手の小学校区単位でのネットワークづくりの強化 適宜出前講座メニューの見直し 健康づくりを推進する人材が活躍できるしくみづくり・地域資源の把握・掘り起こし 健康チャレンジ10か条を取り入れた活動（ヘルス・ステーション等）が地域に増える</p>	<p>発展・充実</p>							
			<p>「健康」に着目した地域活動の活性化</p> <p>ヘルス・ステーションの設置や活動支援 出前講座や各種健康測定会の実施</p>	<p>測定等の依頼がないところへの働きかけ</p> <p>ヘルス・ステーション14行政区 → ヘルス・ステーション16行政区 → ヘルス・ステーション20行政区 → ヘルス・ステーション26行政区</p> <p>全行政区での健康測定会等の実施</p>	<p>発展・充実</p>							
			<p>人材育成の充実</p> <p>市民が参加しやすい健康講座や養成講座等を実施 「自分のための講座参加」から「人の役に立つ活動・実践」へ 「健康チャレンジ10か条」をはじめとした健康についての情報提供や実践についての支援</p>	<p>サポーターの地域格差の解消 新規サポーターの発掘と養成（養成講座の実施・多様なサポーターの交流の場づくり） 健康づくり関連サポーター数：230人 → 健康づくり関連サポーター数：250人 → 健康づくり関連サポーター数：280人</p> <p>食生活改善推進員：26人（令和4（2022）年度） → 食生活改善推進員：40人</p>	<p>サポーターの自立 → 地域活動への帰属（取組の横展開）</p>							